

伊深まちづくり協議会だより



第 15 号

2014 年 5 月 1 日発行

今号の内容

・協議会の動き	1
・新会長あいさつ	2
・各活動グループの動き	2
・地域のトピックス	3

ホームページアドレス: <http://ibukamachi.com>

(左: 新しくスタートしたほくぶ保育園で)

■ 協議会の動き

新会長に小林喜典さんを選出するなど新体制で 26 年度がスタート

3 月の定例会では H25 年度の総括、決算見込み、新年度へ向けた委員構成の見直しなどについて協議しました。

また、4 月の定例会では、H25 年度の事業報告・決算報告、H26 年度の役員体制、規約の改正などを承認し、新たに選出した小林会長のもと、新体制で H26 年度の活動をスタートしました。

今後一年間ご協力をよろしく申し上げます。

■ H25 年度の主な事業報告 (総括)

- コミュニティ施設建設推進部会を随時開催し、建設要望にむけた検討を進めました
- 4 サロン合同会を後援し、正眼短大との交流を進めました。
- 初めて、他所からの視察研修を受け入れ対応しました。
- 佐野一彦「伊深日記」展に連携した活動のほか地元行事を開催しました。

■ H25 年度決算報告

- 収入: 前期繰越金 126、市助成金 220、販売代金 122 計 469 千円
- 支出: 共通経費 111、個別活動費 195 計 307 千円、差引 161 千円を次年度へ繰り越しとしました。

■ 規約改正について

- 広報委員の人数 : 現行「1名」を「2名」に改定することとしました。

■平成 26 年度委員名簿 (網掛けは新委員)

役 職	氏 名	所 属 (G:活動グループ代表)
会 長	小 林 喜 典	H23 自治会長会長
副会長	渡 辺 久 司	H25 自治会長会副会長
副会長	福 田 美 津 枝	生涯学習委員、親子文庫代表、標柱 G・絵葉書 G
会 計	遠 山 尚	社協伊深支部長、可茂森林組合伊深代表
広報委員	大 矢 伸 司	里山 G・保育園畑支援 G
同	渡 辺 葉 子	選任
監査委員	平 田 芳 昭	H26 自治会長会長、伊深視聴覚代表、伊深青少年育成会代表
同	大 矢 純 明	H26 自治会長会副会長
委 員	小 林 宮 夫	H25 自治会長会長
同	堀 田 基 城	伊深体育振興会長
同	河 村 義 信	交通安全伊深分会長
同	長谷部 雅 彦	伊深商工会長
同	井 戸 啓 博	消防第 6 分団長
同	小 林 桂	伊深小学校 PTA 副会長
同	渡 邊 真 司	ほくぶ保育園保護者会伊深代表
同	亀 井 洋 志	民生児童委員
同	平 田 美 津 子	主任児童委員
同	福 田 範 和	農業委員
同	河 村 一 彦	市災害協力隊伊深支部長
同	篠 田 洋	小学校稲作体験支援 G
同	長谷部 典 子	伊深あじさい会
同	井 上 美 恵 子	美化 G、れんげ会代表
以上 22 名		
事務局	村 井 泰 史	伊深連絡所長

新任ごあいさつ

伊深まちづくり協議会
会長 小林喜典



今年度、会長に任命されました小林です。前会長の篠田洋さんのような働きはできませんがよろしくお祈いします。

現在、美濃加茂市にはまちづくり協議会が伊深、三和、加茂野、山之上の4地区にあります。

そのまちづくりについては、平成13年12月1日号の美濃加茂市報に特集で載っています。

この会は「人のつながりや地域のつながりが希薄になっていると言われる今日、ライフスタイルの多様化などから地域特有の課題が生まれています。その課題を住民自らが見つけ直し住みやすいと思える地域を目指す……」という市の第五次総合計画に基づいて活動が始まりました。

加茂野は住民1万人でまちづくり。

三和は過疎化の中でまちづくり。

山之上はこれから活動を本格化。

市としては全地域に発足してもらい地域の事は地域住民で・・と願っています。

さて、伊深ではどんな活動を行っているの？

3年かけてやっとできたのが、伊深の歴史等を紹介する標柱づくりでした。

これらの活動については、全戸配布の「伊深まちづくり協議会だより」で紹介しています。今回の発行で第15号となりました。この活動も伊深ならではの。

ホームページも開設しており1年半のアクセスカウントも1万件を超えました。伊深はもちろん、美濃加茂市、日本、もしかしたら世界中から見てもらっています。

そんな活動も「まちづくりの人んたが何や知らんがやとる」(伊深弁?) とのうわさ話が聞こえてきます。

いろんな活動を行って広報紙やホームページで紹介しても簡単には認識されません。

4月からいろんな活動を計画しています。その中でいち早く始めるのが、正眼寺短大上り口を中心とする花壇づくりです。

毎年協力いただける参加者が増えています。参加は自由。来年は私たちの地域でも・・・と活動の輪が広がる事を楽しみにしています。

活動の予定は市報などの回覧等に入れる予定です。皆さんの参加を楽しみにしています。そして最重要で取り組んでいますのが伊深コミュニティーセンターの建設です。何十年も前から要望していますが願いがかないません。

将来の伊深のまちづくりを考えようと、若い人たちによる話し合いも行っています。

地域の皆さん全員が参加できるまちづくりを作りたいと考えています。よろしくお祈いします。

○新年度委員の顔ぶれ(欠席者あり)



■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。(代表者の敬称略)

※平成26年度については市の助成規準の変更等から活動ごとの予算が確定しておらず、当面、継続事業のみで、新規活動については5月の定例会で決めることにしています。

子どもの居場所づくりグループ 代表:佐野 綾目

○伊深自治会館としての使用ができなくなった関係から、他の場所での実施を検討しましたが継続困難と判断し、平成25年度をもって終了することといたしました。関係者の皆さまに

はお礼申し上げます。(次頁に佐野代表のお礼のことばを載せました)

伊深の里の標柱づくりグループ 代表:福田美津枝

○3月9日・4月20日に作業を行い、一応の

完成としました。詳しくは「地域のトピックス」をご覧ください。

※その他の活動グループは特にありませんでした。

保育園畑作体験支援グループ 代表：大矢 伸司

○ 4月下旬にいちご畑の整備を行い、5月の収穫時期を楽しみにしています。その後、昨年と同様、豆まきを予定しています。



絵葉書づくりグループ 代表：福田美津枝

○ 視察研修や伊深日記展で販売でき、残部が僅少となったため、「伊深のみやげ」として使っただけのよう新シリーズの作成準備を進めています。

環境美化グループ 代表：井上美恵子

○ 短大下の花壇を毎月第1日曜日に手入れしています。

お禮

毎週火曜日の午後、子どもたちと遊んだ日々を、夢の世界のここの様に、なつかしく思い出しています。まちづくり協議会の方々、伊深小学校の先生方、そして仲間を支えられ、色々な楽しい思いをさせていただきました。

下町の野原でカラスノエンドウを採って来て、笛にして音が出た時、遠い昔の幼い日がよみがえって来ました。仲間と自治会館の前でおやすみなさいのあいさつをかわした時に見た、高木山から昇る月もわすれられません。

子どもたち。色々な楽しい思い出を残してくれて、ありがとう。これからも出来たら、伊深に住んで、まわりの人を喜ばせることが出来る人生を歩んで下さい。

村井さんの畑には麦が育っています。無事に小麦が実りますように。

文庫・子どもの居場所づくり
佐野 綾目

■ **地域のトピックス**

地域内での最近のトピックスを紹介します

伊深小学校で卒業式・入学式がありました

3月25日の卒業式では男子6、女子5、合わせて11人が卒業しました。中学の制服で臨んだ卒業生たちはすでに大人びて見えました。あいさつ運動の展開など、ひとりひとりが学校で取り組んだ経験を自信に変え、たくましく、それぞれの夢に向かって進んでほしいものです。

また、4月7日には男子7、女子6、合わせて13人の新入生を迎え、入学式が行われ、新入生たちは新しい生活への期待で胸をふくらませていました。今年度からは初めて5・6年で複式授業が取り入れられることになり、難しい対応が求められることとなりますが、先生方のご努力を期待し、地域としてできるだけの支援を行いたいものです。



伊深保育園で最後の卒園式、「ほくぶ保育園」に生まれかわって開園式・入園式がありました

一方、3月27日には伊深保育園で最後となる卒園式が行われ、

男子6、女子6、合わせて12人が卒園しました。みんな自分で描いた絵を高く掲げ、元気に「将来何になりたいか」を発表してくれました。小学校へ進んでも、元気に通ってほしいものです。

その後、伊深保育園としての閉園式が行われ、最後に卒園生や地域の人たちも参加して園庭で記念の風船飛ばしが行われました。

また、4月7日には「ほくぶ保育園」と生まれ変わった園で、開園式・入園式が行われ、新しい歴史がスタートしました。地域とのふれあいを大切にしてきた伊深保育園の良さを引き継ぎ、これからも伊深・三和のわけへだてなく園児たちの楽しい園生活を支援していきたいものです。



4月20日、市自治会親善レデースソフトボール大会で伊深チームが準優勝となりました

過去2年連続で優勝している地元伊深チームはAブロックで1・2回戦を勝ち抜き、「山之上」チームと決勝を行いました。結果は惜しくも準優勝となりましたが、相手は実業団経験者の投手を擁する強豪チームで、惜敗した伊深チームの強さもなかなかといった試合となりました。



4月20日、「伊深の里の標柱づくり」が完成しました

平成23年度から活動がスタートしたものの、一時中断していた同活動が本格的に再開し、3月9日、4月20日の2回の設置作業で予定していた全32か所への設置を完了しました。この活動は、当まちづくり活動に先立つ「伊深の景観づくり」の中から発案され、その後間伐材の利用などの要素を含んだ活動に発展してきたもので、材の運び出し、製材・乾燥、研磨、塗装、穴あけ、金具取り付け、字書きまでのハード作業を断続的に進めてきた一方、設置かしの洗い出し、管理者の把握、地権者・管理者との協議といったソフト面の調整に予想以上に時間を要し、結局3年越しの活動となりました。

この間、県森林文化アカデミーの先生から技術面でのアドバイスをいただいたり、高度な作業は専門家に委託するなどしましたが、全体としてかなりオリジナルな標柱になったのではないかと思います。

活動グループでは「せっかく設置した場所のいわれなどを広く知ってもらうため、標柱をめぐる『まち歩き』や案内用のリーフレット作成も行いたい」（福田代表）としており、早急に計画を具体化することにしています。ここまでの活動にあたり、多くの方のご協力をいただきましたこと、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

